

# 生ごみリサイクル徹底のお願い

～その「ちょっと」が、リサイクルの大きな壁に～

現在、岡谷市では皆様に分別していただいた生ごみを、大切な資源として「たい肥」にリサイクルしています。

しかし、最近、**生ごみの中にプラスチック類（ビニール袋、ネット、容器包装など）が混ざるケースが急増し、非常に困っています。**改めて、生ごみの適切な分別にご協力をお願いします。



## 現場の切実な声



「生ごみにプラスチックが混ざると、**機械が止まったり、たい肥の中にプラスチック片が残ってしまいます。**  
そのため、現在は作業員が一つひとつ、汚れた生ごみの中から**手作業でプラスチックを取り除いています。**  
良いたい肥を届けるため、皆さんの分別の力が必要です！」

- 1 プラ製容器・袋（たれの袋のゴミなど）
- 2 輪ゴム・ビニール
- 3 水切りネット



これらは「生ごみ」ではありません。  
袋に入れる前に再確認をお願いします！

絶対に混ぜないで！  
ワースト3



## 正しい出し方の3ステップ



- 1 **水切り**：ギュッと絞って水分を切る（リサイクルの効率が上がります）
- 2 **ネット除去**：ネットは入れず、中身だけを指定袋に入れる
- 3 **記名**：指定袋に入れ、氏名（フルネーム）を記入する



**「分ければ資源、混ぜればごみ」**

岡谷の豊かな自然を守るため、一人ひとりのご理解とご協力をお願いいたします。